

森林塾青水・楽習会（下流圏会員親睦プログラム）

日本の林学・公園の父本多静六博士と 資本主義の父渋沢栄一翁の功績を訪ねて

6月15日（土） 16日（日）

最近、映画「翔んで埼玉」が話題を呼ぶなど埼玉が熱い。考えてみると利根川右岸の中流域を占め、その南にはかつて、下流で利根川と合流していた荒川が流れています。古代史ブームに火を点けた稲荷山古墳出土の鉄剣、和同開珎の原料である和銅の産出など、地理的にも、歴史や文化の面でも重要な地域です。上ノ原に向かうとき、ただボーッと通過していたのではと反省するばかりですが、日本の近代資本主義の振興に大きな役割を果たし、新一万円札の顔ともなる渋沢栄一翁や、日本の林学、そして公園の父である本多静六博士を生んだ土地柄であることを忘れてはいけません。

そこで今回、会友で松伏町に勤務されている小林哲也さんのご協力をいただき、一泊二日の日程で、東は江戸川を挟んで千葉県と接する松伏町から西は秩父方面へと辿りながら、本多博士、渋沢翁という二人の巨星をはじめ、埼玉の歴史や文化所縁の場所を訪ねる欲張りな下流圏会員親睦プログラムを企画しました。この機会に、上ノ原に思いを馳せながら「飲水思源の旅」で会員同士の親睦を深めませんか。

主な訪問先の紹介

○本多静六記念館

本多静六博士没 60 年記念事業で整備された記念館で、平成 25 年 4 月にオープン。博士の直筆の資料や遺品などの貴重な資料をはじめ、公園の模型や写真、博士が手がけた全国各地の公園や観光地のポスターを展示。

○渋沢栄一記念館

深谷市北部、渋沢栄一の生家（血洗島）から東に 500m ほどの清水川のほとりにあり、渋沢栄一に関する展示を行っている。2017 年（平成 29 年）9 月 21 日には上皇上皇后両陛下が行幸啓。

○木力館

「きりよくかん」と読み、材木屋の主人が桧、杉、モミの木、ポプラなど秘蔵の材木を使って建ち上げた世界にふたつとない、六角形の木と材木の博物館（延床面積 8 6 坪）。構造躯体にはホゾを貫き込み、栓を使い、頑固に伝統工法（通し貫工法）を用いた材木屋ならではのこだわりの建物。

○その他

この他、松伏町の名所や秩父神社などを訪ねる予定です。



■ プログラム概要

第1日目 6月15日(土)

時刻	内 容	備 考
9:00	久喜駅東口集合・日程説明 乗合レンタカー等で出発	
10:00~11:00 11:30~14:00 16:00~17:00	「木力館」見学 松伏町視察・昼食(レストラン等) 秩父神社他	さいたま市岩槻区新方須賀 558-2 株式会社 大忠 敷地内 ☎ 048-799-1560 松伏町から秩父までは車で二時間程度
17:30~	民宿「すぎな」着 入浴、夕食、交流会	夕食時の飲み物代金は各自負担

第2日目 6月16日(日)

時刻	内 容	備 考
7:30 8:30	朝食 宿出発	
9:30 12:00~14:00 14:30	深谷市・渋沢栄一記念館見学 昼食、久喜市・本多静六記念館見学 久喜駅で解散	埼玉県深谷市下手計 1204 ☎ 048-587-1100 昼食場所は適宜 久喜市菖蒲町新堀 38 久喜市菖蒲総合支所 5階 ☎ 0480-85-1111

参加要項

□集合：6月15日(土) 9時に久喜駅(JR・東武) 東口に集合

□参加費：13,000円程度

宿泊代、レンタカー代、交流会費代など 昼食代・飲み物代は各自

□宿泊：民宿 展望の宿「すぎな」〒368-0053 埼玉県秩父市久那 1036 ☎ 0494-23-2003

※事情により変更となる場合があります。

□服装：自由(トレッキングなどはありません)ですが、歩きやすいスタイルで。

□参加申し込み：参加は会員およびその家族・友人に限ります。

締め切りは6月5日(月)

青水事務局 jimukyoku@commonf.net 又はFAX043-375-1685 (草野洋宛)に申し込み

□問合せ及び当日の緊急連絡先 草野携帯(090-3390-840) 又は稲携帯(090-9292-6781)

※申し込まれた方には、追って詳細をご案内いたします。